

新規就農者の参入支援と法人経営体の育成

県南農林事務所つくば地域農業改良普及センター

つくば地域の農業を支える未来の担い手を育成するため、農業三士、農業法人や関係機関と連携して新規就農者の参入・定着支援に向け、就農計画の所得目標達成のための技術・経営面の支援を行いました。また、農業参入等支援センターと連携して雇用就農の受け皿となる法人の設立を進めました。その結果、令和元年度は57名が新規就農し、重点対象者の所得目標達成割合は23%から43%へと向上しました。また、新規で10経営体が法人を設立し、つくば地域の法人数は117経営体となりました。

新規就農者の参入支援

当管内の農業三士、農業法人や関係機関と連携して、就農希望者に対する就農相談や就農に向けた支援を行った結果、令和元年度は57名が新規就農しました(親元就農7名、新規参入15名、雇用就農35名)(写真1、2)。

また、上記の新規就農者のうち、管内の農業法人に雇用就農していた2名が独立就農しました。



写真1 つくば地域就農支援協議会担当者会議



写真2 新規就農者への巡回指導の様子

就農計画の達成に向けた支援

新規就農者の就農計画達成に向けて、重点的に技術及び経営面の支援を実施した結果、就農計画の所得目標達成者割合は、23%から43%へと向上しました。

また、新規就農者のスキルアップを目的として受講者の課題やニーズに応じた農業学園(講座)を開催し、受講者からは理解度向上率86%、活用度4.3(5段階評価)の評価を得ました。

法人経営体の育成

つくば地域では新規就農者のうち雇用就農者の割合が5割を超えているため、その受け皿となる法人経営体の育成を積極的に進めました。

農業参入等支援センターと連携して法人化志向農家を対象とした法人化促進講座や専門家派遣による経営相談及び支援を行った結果、新たに10経営体が法人を設立し、当管内の農業法人数は117経営体となりました(写真3)。

今後も、これらの農業法人と連携し、新規就農者の確保・育成に取り組んでいます。



写真3 設立法人(農事組合法人やなぎの郷)